



株式会社 唐沢農機サービスだより

私たちは、農の心とインターネットで地元農家を応援します。

「ノウキナビ」は、農の心とインターネットが融合した、中古農機市場の新しい「カタチ」です。

唐沢農機サービスは農機具を販売したり、修理したりして、地元の農家の方々に応援し続けている会社です。これまで、農機具販売に関しては新品が主で、お客様はその機械の寿命が尽きるまで使いつづけるのが常でした。

ただ、時代の流れのなかで、いつたん世に出た新品の農機は、中古として新しい価値を生むようになってきています。実際、お客様からも「いまさら新品でもないから、程度の良い中古品はないかな？」とか「使っていない農機が倉庫で眠っているんだけど、売れないかな？」といった声をたくさんいただいています。

いろいろなモノがインターネットで売り買いされる昨今、中古農機はその流れからやや取り残された感があるのも事実です。とはいっても、中古の農機を欲しがっている方もいますし、まだ使えるのにお蔵入りさせている農家さんもあります。「そんな方々をつないで双方が満足できるホームページがあつたらどうだろう」。この想いを後押ししたのがITでした。

私たちは、「これからの農業を救うのはITだ」という考えで、いち早くインターネット事業部を立ち上げました。農機具屋ではちよつと珍しいこの部門でつくつたのが「ノウキナビ」という中古農機売買サイトです。中古農機の「売りたい」と「買いたい」に対して、インターネットを通じて優良な販売店や農家さんを結び、「買ってよかった」「売ってよかった」の輪を日本中に拡げています。

中古農機に光を当て、良好なカタチで流通させる「ノウキナビ」。現在、登録販売店は211件、登録農家件数は882件におよび、着実に伸長。東京と大阪にも営業所を開設しています(2017年5月20日現在)。

インターネット事業では、「ノウキナビ」以外にも、「農家直売どつとこむ」というショップを運営しており、農家さんが手塩にかけて育てた作物をインターネットを介して、全国のお客様に届ける仕組みをつくつていきます。こんな地道な活動が、日本の農業の「元気の素」になつてくれればと願っています。

「ノウキナビ」以外にも、「農家直売どつとこむ」というショップを運営しており、農家さんが手塩にかけて育てた作物をインターネットを介して、全国のお客様に届ける仕組みをつくつていきます。こんな地道な活動が、日本の農業の「元気の素」になつてくれればと願っています。

私たちの仕事を、ひとつひとつ紹介させていただきます。

今回は、農機修理事業をスタッフが語ります。

- 農機販売
- 農機修理
- 農機再生
- インターネット事業
・WEB制作・運用
・コンサルティング
- コイン精米

唐沢農機サービスは、5つの事業から成り立っています。農業機械が主体でしたが、8年前からインターネット事業を開始。より多角的に、農業に携わるお客様の「ご要望」に応えています。

修理の技術はまだまの新米ですが、対応のスピードには自信があります。

農機修理事業部 小泉 八雲

わたしは入社してちょうど二年目になる新米整備士です。なので、毎日が勉強することだらけ。戸惑うことと連続です。先輩たちを見て学び、聞いて学び、感じて学ぶ日々が続いています。学びで最初に身に付いたのが「迅速な対応」です。農作業中のお客様からトラブルの電話があつた時など、大急ぎで向かいます。入社してしばらく経つた頃の、「他と違ってオタクはすぐ来てくれるから助かるよ」というお客様の言葉は、いまでも速さのエネルギーになっています。

修理の技術はまだまです。でも、何十種類もある農機具のほとんどを修理できるようになりました。コンテストで全国一位になつたほどのテクニックをもつている先輩が、手取り足取り指導してくれたおかげだと思えます。農機具は自動車などと違って、機構がシンプルなので、理解しやすいです。ただ、メーカーによつて微妙に違いがあるので、初めはちよつと困つたりしましたが、今はなんとかなっています。でも、修理技術は先輩たちに比べるとまだ半人前の実力ですかね(たぶん、先輩からは半人前以下といわれるかもしれません)。



スタッフを紹介します



小泉八雲は本名。出身は東御市です。

小泉 八雲

県外出身者が多いこの会社では、逆に珍しい東御市生まれです。大学では化学を専攻していたので、修理や整備は一からのスタートでした。

実家が農家でしたから、農機具にすぐ馴染めたんだと思います。いま、ドローンで液剤を散布する農機具がありますが、あんな最新のものを修理するのが将来の夢ですね。

最近、こんなことがありました

中古農機売買サイト「ノウキナビ」が、西日本の営業拠点として大阪営業所を開設しました。

中古農機売買サイト「ノウキナビ」が、4月1日に大阪営業所を開設しました。「ノウキナビ」は、中古農機を「売りたい」「買いたい」と考えるお客様と販売店様をインターネットでつなぐサービスです。

「ノウキナビ」の大阪営業所は、西日本の販売店へのサービス拠点として設置。これまでよりきめ細かい営業活動や登録販売店様へのサポートが出来るようになりました。

インターネットで見逃されがちなのが、販売店様との対面コミュニケーションです。大阪営業所は、この顔と顔を合わせた

情報交換を主な目的としています。ノウキナビでは、東日本をカバーする東京営業所を昨年九月に開設しており、今後も日本各地に展開できればと考えています。



いよいよ本格的な農作業シーズン突入。展示即売会も大盛況でした。

4月1日と2日に開催された春の展示即売会には、大勢のお客様にお越しいただきました。農作業が本格的に始まる時期、お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。おかげさまで、中古農機をお求めのお客様を中心として盛況のうちに幕を閉じました。過去最多の台数を用意した甲斐がありました。秋に予定している次回もよろしくお願いいたします。



農で輝いている方々を訪ねてみました

東御市のブドウ農家の三代目、若林賢司さんにブドウづくりについていろいろお話をうかがいました。



ブドウづくりを始められて何年ぐらいになりますか？

三年前に、大阪での仕事を辞めて、ここを継ぎました。ブドウは祖父の代からやっていますので、三代目になりますね。父母がやっていた時に雪害があつて、ブドウがダメになった時がきっかけになりました。父に「継ぐ気がないんだつたら、やめる」って言われたんです。ゼロから近いスタートだったんですが、「絶やしたくない」と思って引き継ぐことにしました。

ブドウ栽培でいちばん大変なことを教えてください。

ブドウの作業は、剪定(余分な枝を落とす)、房切り(いい房だけを残す)、摘粒(粒数を減らす)、ジベレリン処理(種なしにする)、袋かけ(病気・害虫などから守る)、とかいろいろあります。摘粒がとっても大変ですね。ちっちゃいブドウの実を百粒から四十粒ぐらいに減らす作業。粒を落とす時、

やみくもに切るのではなく、粒間のバランスを保つたりとか、経験と勘が必要です。袋かけなどは、子供の頃にお手伝いはしましたが、摘粒はさせてもらえませんでした。

こだわっていることと、将来の夢を聞かせてください。

こだわっていることは、草生栽培です。木の下に草を生やすんです。そうすると、草の根で土のなかに空間ができて、柔らかくなりますし、微生物もちゃんと生きます。それと、東御は斜面の土地が多いので、作物はよく育つんです。草が根を張っていると、流土が防げます。草生栽培は代々引き継がれたものです。が、わたしも守っていきます。

将来の夢は、若い世代の仲間たちといっしょに地元の産物をPRして、東御産を全国に広めたいですね。わたしが生まれて育てられてきたところからです。



【東部湯の丸インターより車で約15分】
国道18号線より小諸方面へ、「片羽」信号交差点を左折、直進400メートル左手、看板が目印

【小諸インターより車で約10分】
国道18号線より上田方面へ、「片羽」信号交差点を右折、直進400メートル左手、看板が目印

【最新のお買い得商品です】
新品も中古品も、性能と価格には自信があります。

| | | |
|---|--|--|
|  イセキ 乗用田植機 PP4-S 4条植え ¥324,000 (税込) |  三菱農機 運搬機 MEC80-A 特別価格 ¥189,000 (税込) |  三菱農機 管理機 MMR600AUN 特別価格 ¥220,000 (税込) |
|  筑水キャニオン 運搬車 BFC501 ¥250,000 (税込) |  三菱農機 2条植え 歩行田植機 MP29EB 特別価格 ¥395,000 (税込) |  三菱農機 4条植え 乗用田植機 LC40 特別価格 ¥660,000 (税込) |